

地域医療連携室だより

For you

ほうゆう

平成27年7月発行（第12号）

平成27年度 夏号

1. 平成27年度 認知症家族講座はじまりました



日野 博昭院長

6月20日（土）今年度、第1回目の認知症家族講座を開催いたしました。当院のデイケア・サンアリスと合同で総勢33名の方々にご参加いただきました。

「認知症の疾患と治療」をテーマに当院の院長である日野医師が講演を行いました。物忘れと認知症の違いや認知症の種類ごとの特徴、周辺症状に対する薬物療法と非薬物療法、介護のポイントについてお話しをさせていただきました。

たくさんのご参加ありがとうございました。

—認知症家族講座 今後の予定—

- | | | |
|-----------|-------------------|---|
| 7月18日（土） | 『認知症の日常生活ケア』 | 副看護部長（認知症ケア専門士）原科 美津枝
病棟科長（老人看護専門看護師）村山 由子 |
| 8月15日（土） | 『認知症の薬の話』 | 薬局長 小山 啓子 |
| 9月19日（土） | 『介護保険制度改正と利用について』 | 湘南泉病院 居宅介護支援事業 管理者 今田 義昭氏 |
| 10月17日（土） | 『認知症の患者の家族から』 | 家族会 |
| 11月21日（土） | 『高齢者の摂食・嚥下について』 | 管理栄養士 福江 民子 |
| 12月19日（土） | 『ユマニチュードについて』 | 副看護部長（認知症ケア専門士）原科 美津枝
病棟科長（老人看護専門看護師）村山 由子 |

※テーマ、並びに講師については一部調整中の為、変更となる場合がございます。

受付時間：13時より

開催時間：13時30分から15時 講義時間は45分間の予定です。

その後は参加者の皆さん同士で家族の集いを会議室にて行います。

開催場所：横浜ほうゆう病院 外来ホール

参加費用：資料、お茶代として100円いただきますのでご了承下さい。

申込方法：お電話にてお申し込み下さい。

当院をご利用されていない方の参加も可能です。

045-360-8787（代表） 担当：地域医療連携室 原科・奥田

2. 外来受診・入院のご案内

【ご相談から受診・入院までの平均日数】

	H26年度	H27年6月
鑑別診断 通院希望	8.5日	8.4日
入院希望	5.3日	2.3日

現在、精神科常勤医師は5名勤務しています。(日本認知症学会認定専門医3名、日本老年精神医学会認定専門医が2名)その他にも非常勤精神科医師が11名勤務しており、入院・外来診療を行っています。ご相談から初診・入院までスムーズに調整ができるよう取り組んでいます。

【鑑別診断・通院治療】

問診、画像検査、認知機能検査等を行います。専門医がご本人を診察し、鑑別診断の結果についてご説明し、今後の治療方針を考えていきます。
<※MR I 検査等、詳しい検査が必要な場合には、協力医療機関に検査の依頼をしております。>
一人ひとり丁寧に向き合うために、診察には十分な時間がかかります。診療は【予約制】となっておりますので事前にお電話にてご連絡下さい。(ご相談から1週間前後でご案内可能です。)

また、初診時には、顔と顔を合わせて、ゆったりと会話を交わしながら患者さんの体温や血圧の測定を行い、診察をお待ちいただく間にも不安な思いを持たれてしまうことが無いよう、細やかにお声かけすることを心がけています。

【入院治療】

—入院の対象となる方—

- ・認知症の周辺症状(徘徊、介護への抵抗、暴言など)でお困りの方
- ・上記の症状から施設やご自宅での生活にお困りの方
- ・ご家族の介護疲れ軽減の為に短期(2週間~1ヶ月程度)の入院を希望の方等

かかりつけ医がいる場合は紹介状のご用意をお願いしております。事前にお話を伺い、病状を確認の上、入院予約をお取りします。

—入院費用—

- 医療費1割負担の方…17万円前後/月
 - 医療費3割負担の方…25万円前後/月
- (お持ちの限度額認定証等により入院費用には個人差がございます。詳しくは直接お問い合わせ下さい。)

【看護相談外来】

認知症専門の看護師が療養生活上の相談に応じます。

<例>

- ・認知症と診断された後に必要なこと。
- ・認知症の症状への対応
- ・日常生活を整えるケア
- ・介護について
- ・介護サービスの活用 等

外来日：火・木・金

9:45~12:30

相談時間：1回30分程度

費用：無料

3. おわりに

平成26年4月に改正精神保健福祉法が施行されて1年が経過しました。改正法施行後に新規入院された患者さんのうち、約7割の方がこの1年の間に退院されました。当院では、前方支援の担当として地域医療連携室が受診や入院等の相談に応じています。そして後方支援の担当者として病棟に専従の精神保健福祉士を配置しており入院中の生活、退院支援の役割を担っています。院内各部署で円滑に連携が図れるよう、報告・連絡・相談を密に行い、また院外では“顔の見える関係”を心掛けています。

暑い季節になりました。

脱水や熱中症には注意してお過ごし下さい。

~今年の5月より病院職員の
ユニフォームが新しくなりました~



横浜ほうゆう病院の
精神保健福祉士と地域医療連携室長

*次号(秋号)は10月頃の発行を予定しています。
本日よりのご意見・ご要望は地域医療連携室までお願い致します。



—認知症疾患専門病院—

〒241-0812 横浜市 旭区 金が谷 644-1

TEL: 045-360-8787(代)

FAX: 045-360-8788

ホームページ: <http://www.hoyukai.org/yokohama-hoyu/>

地域医療連携室 担当: 原科 今野 奥田